

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

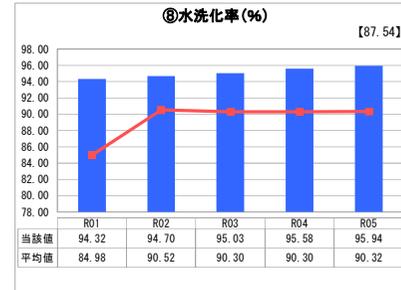
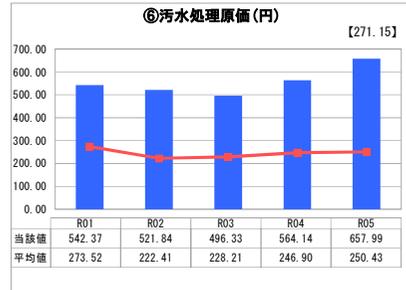
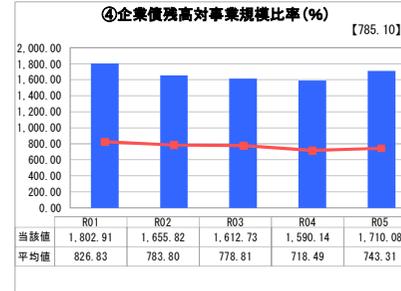
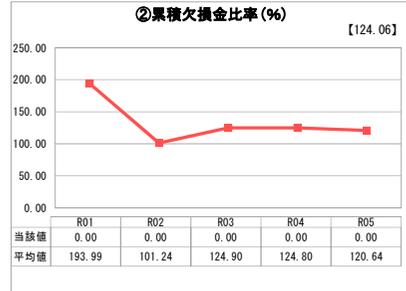
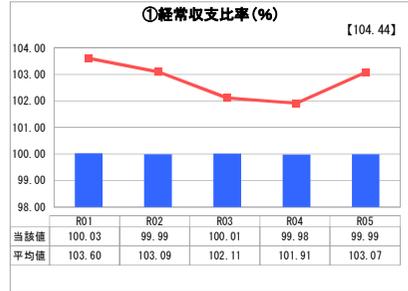
岡山県 岡山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	42.17	0.88	91.92	3,011

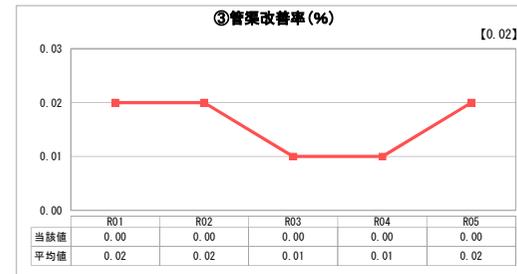
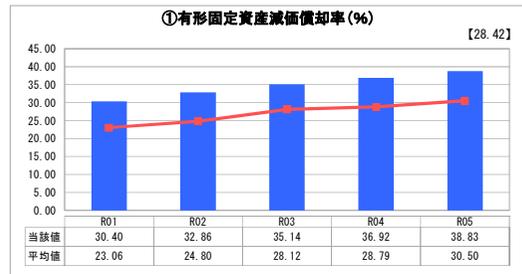
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
698,671	160.53	4,352.28
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,152	2.26	2,722.12

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

農業集落排水事業については、整備が終了していることから、水洗化率は高い。  
一方で、処理施設が点在していることから、経営効率は特定環境保全公共下水道事業よりもさらに悪い。  
各指標の特徴としては以下のとおり  
①一般会計繰入金により赤字相当額を補てんしており、100%程度となっている。  
②一般会計繰入金により赤字相当額を補てんしており、欠損金は生じていない。  
③整備が終了しており、経費に占める償還元金の割合も減少してきているため、増加傾向にある。  
④類似団体と比較して処理施設数が多いこと等により、高水準であるが、減少傾向にある。令和5年度は公共下水道への統廃合による影響により増加している。  
⑤使用料対象としている額に対し、100%は賄えていない。  
⑥資本費が高いこと(④)等により、高水準となっている。  
⑦処理区域内人口の減少等により減少傾向にある。  
⑧整備が終了していることから、高水準となっている。

### 2. 老朽化の状況について

本格的な整備時期が平成一桁以降と遅い上に、償却年数の短い設備が多い処理場が多いことから、近年、老朽化の指標のうち、有形固定資産減価償却率が類似団体平均を上回っている(本市は平成22年度より地方公営企業法を適用しており、①有形固定資産減価償却率(%)は法適用以降の減価償却累計で算出されるため、その点に留意する必要がある。)  
ただし、将来的には多額の更新需要が見込まれることから、長寿命化や改築更新費用の平準化を計画的に進める必要がある。

### 全体総括

持続可能な下水道事業の運営を図るため、平成27年度に策定した経営戦略(岡山市下水道事業経営計画2016)の中で目標数値を定め、PDCAサイクルにより経営改善を図ることとしている。  
具体的には、接続促進による使用料収入の確保、施設の統廃合や施設管理の効率化等による支出の削減等により、経営改善を進めることとしている。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。